



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 菅谷 真之

TEL 03-6747-8805

四半期報告書提出予定日 2020年11月5日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	47,132	17.0	716	40.2	791	37.7	1,030	43.1
2020年3月期第2四半期	56,781	4.4	1,199	32.0	1,269	32.8	1,811	42.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 718百万円 ( 57.8%) 2020年3月期第2四半期 1,700百万円 (51.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	36.13	
2020年3月期第2四半期	63.58	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	68,381	44,923	65.7	1,574.52
2020年3月期	81,011	44,710	55.2	1,568.54

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 44,923百万円 2020年3月期 44,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		23.00		19.00	42.00
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	14.6	2,800	24.1	2,800	26.0	2,300	32.7	80.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,600,000 株	2020年3月期	28,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	68,693 株	2020年3月期	95,385 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	28,512,172 株	2020年3月期2Q	28,488,611 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照願います。

#### (決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年11月5日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大がまだ終息の見通しが立たず、経済活動が限定的となっており、消費マインドの落ち込み、企業収益の急激な悪化による設備投資の抑制、雇用・所得環境の悪化と、国内・海外経済ともに厳しい局面が続いております。

このような状況下、当社グループは、3ヵ年中期経営計画『CI・J-3 (Challenge&Innovation・Joint)』最終年度として、今後も成長が見込まれる環境・エネルギー関連分野に注力し、成長性に重きを置いた事業領域の拡大を図るとともに、高付加価値なシステム・ソリューションビジネスの展開による収益性の向上に取り組んでおります。

しかしながら、売上に関しては、景気の先行き不透明感による設備投資の抑制から、FAシステム事業が苦戦を強いられ、インフラ事業は前期の大口案件剥落により大きく減少となりました。利益に関しては、徹底的な経費削減に努めましたが、FAシステム事業の利益減少が大きく影響し苦戦しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては47,132百万円（前期比17.0%減）となり、経常利益につきましては、791百万円（前期比478百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益736百万円を計上しましたが、前期は旧本社社屋及び土地の売却益1,433百万円があったことから1,030百万円（前期比781百万円減）となりました。

セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
				増減額
FAシステム事業	売上高	21,257	17,221	△19.0%
	経常利益	993	519	△474
ビル設備事業	売上高	6,419	5,473	△14.7%
	経常利益	6	△51	△57
インフラ事業	売上高	17,397	13,728	△21.1%
	経常利益	9	1	△8
情通・デバイス事業	売上高	11,706	10,709	△8.5%
	経常利益	191	263	71

①FAシステム事業

FA分野は、新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の停滞や、機械装置メーカ及び自動車産業関連顧客等の設備投資抑制により、駆動機器やコントローラをはじめ全商品群で苦戦し低調な推移となりました。

産業メカトロニクス分野は、放電・レーザ加工機共に案件少なく低調な推移となりました。

産業システム分野は、前期の電気設備の大口案件が剥落し減少しました。

その結果、当該事業としては19.0%の減収となり、経常利益は474百万円の大幅減益となりました。

②ビル設備事業

設備機器分野は、情報・通信事業者向け受変電設備が堅調に推移しました。一方、昇降機は前期の大口案件の剥落により減収となりました。

空調・冷熱機器分野は、飲食業を始めサービス業向けが低調に推移し、空調機器、低温機器共に苦戦しました。

その結果、当該事業としては14.7%の減収となり、経常利益は57百万円の減益となりました。

③インフラ事業

交通分野は、鉄道事業者向け無線通信機器が好調に推移したものの、受変電設備機器は前期の大口案件が剥落し、車両用機器も低調に推移したことから大幅に減少しました。

社会システム分野は、官公庁ビジネスは堅調に推移しましたが、前期の大口案件の剥落や、再生可能エネルギー関連ビジネスである太陽光発電（メガソーラー）の案件が減少しました。

その結果、当該事業としては21.1%の減収となり、経常利益は8百万円の減益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、画像・映像機器は前期並みに推移しましたが、電子医療装置が案件少なく減少しました。

半導体・デバイス分野は、産業用パワーデバイスは産業機器関連顧客の復調により好調に推移しましたが、ハードディスクドライブ用ICは新型コロナウイルス感染症拡大による部材入手難からハードディスクドライブの生産減により減少し、自動車産業関連顧客向け電子デバイス品も低調に推移しました。

その結果、当該事業としては8.5%の減収となりましたが、経常利益は、半導体・デバイス分野の産業用パワーデバイスの好調及び高利益率の無線モジュールビジネスが寄与し71百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、68,381百万円（前連結会計年度末比12,630百万円減）となりました。

流動資産は、53,493百万円（前連結会計年度末比11,871百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、有価証券が4,999百万円増加した一方で、現金及び預金が6,466百万円減少、受取手形及び売掛金が10,234百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、14,888百万円（前連結会計年度末比758百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、投資有価証券が665百万円減少、繰延税金資産が60百万円減少したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、21,414百万円（前連結会計年度末比12,938百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が783百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が10,220百万円減少、電子記録債務が1,203百万円減少、未払法人税等が684百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、2,043百万円（前連結会計年度末比95百万円増）となりました。

純資産は、44,923百万円（前連結会計年度末比212百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,030百万円計上、配当金の支払が541百万円あったことにより、利益剰余金が488百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が297百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.7%、1株当たり純資産額は1,574円52銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,466百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には17,495百万円（前連結会計年度末比7.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、源泉である税金等調整前四半期純利益について1,523百万円（前年同期は2,649百万円）を確保出来たことに加え、売上債権の減少11,433百万円があった一方、仕入債務の減少11,407百万円、たな卸資産の増加が1,242百万円、賞与引当金の減少が431百万円、投資有価証券売却益736百万円、法人税等の支払額が990百万円あったこと等により、1,547百万円の支出（前年同期は655百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出229百万円、無形固定資産の取得による支出100百万円があった一方、投資有価証券の売却による収入1,311百万円があったこと等により、648百万円の収入（前年同期は509百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払540百万円があったこと等により、544百万円の支出（前年同期は560百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では2020年9月16日に公表しました業績予想から変更しておりません。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大がまだ終息の見通しが立たず、経済活動が限定的となっており、消費マインドの落ち込み、企業収益の急激な悪化による設備投資の抑制、雇用・所得環境の悪化と、国内・海外経済ともに厳しい局面が続いております。

このような状況下、当社グループは、3ヵ年中期経営計画『CI・J-3 (Challenge&Innovation・Joint)』最終年度として、今後も成長が見込まれる環境・エネルギー関連分野に注力し、成長性に重きを置いた事業領域の拡大を図るとともに、高付加価値なシステム・ソリューションビジネスの展開による収益性の向上に取り組んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,663	8,197
受取手形及び売掛金	33,092	22,858
電子記録債権	5,973	4,752
有価証券	4,800	9,799
商品及び製品	4,562	5,795
原材料及び貯蔵品	3	2
その他	2,272	2,088
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	65,364	53,493
固定資産		
有形固定資産	9,142	9,093
無形固定資産	396	439
投資その他の資産		
投資有価証券	5,182	4,516
その他	1,026	942
貸倒引当金	△100	△103
投資その他の資産合計	6,108	5,355
固定資産合計	15,647	14,888
資産合計	81,011	68,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,032	13,811
電子記録債務	4,559	3,355
未払法人税等	1,036	351
賞与引当金	1,106	675
役員賞与引当金	101	24
その他	3,517	3,195
流動負債合計	34,352	21,414
固定負債		
退職給付に係る負債	1,658	1,621
その他	290	422
固定負債合計	1,948	2,043
負債合計	36,301	23,458
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,356	5,358
利益剰余金	32,472	32,960
自己株式	△123	△88
株主資本合計	43,282	43,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	964	667
土地再評価差額金	378	378
為替換算調整勘定	△15	△52
退職給付に係る調整累計額	100	122
その他の包括利益累計額合計	1,428	1,116
非支配株主持分	-	-
純資産合計	44,710	44,923
負債純資産合計	81,011	68,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	56,781	47,132
売上原価	49,567	40,911
売上総利益	7,214	6,220
販売費及び一般管理費	6,015	5,504
営業利益	1,199	716
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	91	67
仕入割引	12	9
その他	38	47
営業外収益合計	154	131
営業外費用		
支払利息	5	6
売上割引	34	25
為替差損	29	18
その他	14	6
営業外費用合計	83	56
経常利益	1,269	791
特別利益		
固定資産売却益	1,433	-
投資有価証券売却益	13	736
特別利益合計	1,447	736
特別損失		
事務所移転費用	62	-
投資有価証券売却損	-	3
固定資産除却損	5	1
特別損失合計	68	5
税金等調整前四半期純利益	2,649	1,523
法人税、住民税及び事業税	179	325
法人税等調整額	659	168
法人税等合計	838	493
四半期純利益	1,811	1,030
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,811	1,030



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,811	1,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	△297
為替換算調整勘定	△49	△36
退職給付に係る調整額	25	22
その他の包括利益合計	△110	△311
四半期包括利益	1,700	718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700	718
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,649	1,523
減価償却費	110	192
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△418	△431
受取利息及び受取配当金	△103	△74
支払利息	5	6
売上債権の増減額 (△は増加)	10,397	11,433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△830	△1,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,640	△11,407
固定資産売却益	△1,433	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	△736
その他	765	109
小計	2,488	△626
利息及び配当金の受取額	102	75
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△1,929	△990
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	△1,547
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△664	△229
無形固定資産の取得による支出	△30	△100
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	144	1,311
関係会社出資金の払込による支出	-	△346
関係会社貸付金の回収による収入	-	33
その他	47	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△509	648
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△553	△540
その他	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560	△544
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△452	△1,466
現金及び現金同等物の期首残高	16,400	18,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,948	17,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	21,257	6,419	17,397	11,706	56,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	26	0	36	130
計	21,324	6,445	17,398	11,743	56,911
セグメント利益	993	6	9	191	1,201

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,201
全社費用(注)	68
四半期連結損益計算書の経常利益	1,269

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	17,221	5,473	13,728	10,709	47,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	50	3	37	111
計	17,240	5,523	13,732	10,746	47,243
セグメント利益又は損 失(△)	519	△51	1	263	732

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	732
全社費用(注)	58
四半期連結損益計算書の経常利益	791

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。